

C50PT213

## ポンドクリアー13000

この度はポンドクリアー13000をご購入頂きありがとうございます。  
ご使用前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。  
また、本書は大切に保管しておいて下さい。  
万一不具合、不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。

### —— 目次 ——

1:ご使用前に

2:各部の名称

3:取り付け

4:メンテナンス

5:補足資料



### 日常ご使用して頂くお客様へ

機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。  
万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、  
設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いか、  
散水箇所の植栽等に大きな変化は無いか必ず日常点検を実施して下さい。

### 取付工事担当者様へ

- 本製品の設置の際には別途ご用意頂く物がございます、事前にご確認下さい。
- 説明書と巻末の製品保証書は、必要事項を記入の上、工事完了後は必ず管理者様、施主様(日常操作可能な方)にお渡し下さい。

お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

# 1:ご使用の前に

## 取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。  
表示と意味は以下のようになっております。



### 警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

- 本製品は小規模観賞池用の[ろ過]機です。違う目的に使用したり、改造しないで下さい。
- 取り付けの際には、取扱説明書の手順、方法を守って下さい。
- ろ過した水は飲料用には使用しないで下さい。
- 冠水の恐れがある所、水の溜まる所、振動、衝撃の多い所では使用しないで下さい。このような場所で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
- 皮膚や目に害を及ぼす事があるのでUV光線を直接浴びたり、見ないようにして下さい。
- 機器に異常が生じた時、機器の点検や清掃の際には電源を切って行って下さい。
- 濡れた手でコンセントプラグや電気接続部分を触らないで下さい。



### 注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- 本体を設置する周囲に火気や高温になる要因が無い場所に設置して下さい。本体が変形したり火災の原因となる恐れがあります。
- 感電事故防止のため、安全アース線は必ず接地してご使用下さい。
- 凍結時、または凍結が予想される場合には使用を中止して下さい。
- 破損などの際に本体やホースの交換をできる様に、周囲の装飾、造形をして下さい。
- 本製品の使用は1台で使用した場合、貯水量が15t（鯉を飼う場合は2t）までの規模の池に限ります。大規模施設などの高度な浄化効果が必要な場合は別途ご相談下さい。
- 常温の水以外の液体に使用しないで下さい。
- 本体は水が入ると重量が増して、重くなりますので、設置箇所は地固めを充分に行い、平坦になるようにして下さい。
- 本体の上に物を乗せたり、腰掛けたりしないで下さい。
- 本製品はろ過によって水をきれいにする製品です。設置後すぐろ過機能が発揮をされるものではなく、効果が表れるのに日数が必要です、ご理解下さい。
- コンクリートモルタルを使用した新設の池に使用する場合は、モルタルの成分が水中に浮遊している場合がありますので、アク抜きなどをして水質が安定してからご使用下さい。フィルターが目詰まりして、ろ過機能が低下します。

## 製品保証について

本製品の製品保証については、巻末の保証規定をご参照下さい。



## 施工の際に注意して頂きたいこと

本製品はフィルター内に、有機物を無機物へ分解する有益なバクテリア（細菌）を繁殖させて水をろ過する生物ろ過と、フィルターで水中の不純物を取り除く物理ろ過と、UV(紫外線)照射による殺菌を同時に行います。  
 タンク内が密閉されているので、水圧をほぼ維持しながら池に戻せます。  
 水中ポンプ（別売）で水を本体へ圧送し、内部で段階を経て、ろ過されます。  
 1:物理ろ過：水がフィルターを通過、ゴミは底に沈殿します。  
 2:生物ろ過：フィルタに定着したバクテリアは水温が+10℃以上で機能します。  
 3:UVC照射：UV-Cランプで紫外線照射。緑藻類、病原体が死滅します。

### 別途で用意して 頂く必要のある物

- ・ 水中ポンプ、水中ポンプ用ホース配管：38φブラックホース
- ・ 水量調節用のバルブ（40A程度）
- ・ AC100V電源
- ・ 制御ケーブル、コンセントプラグ
- ・ 漏電防止ブレーカー
- ・ 各種工具類（シールテープ、ドライバーなど）
- ・ ホース加熱用のドライヤー（ブラックホースを使用する場合）

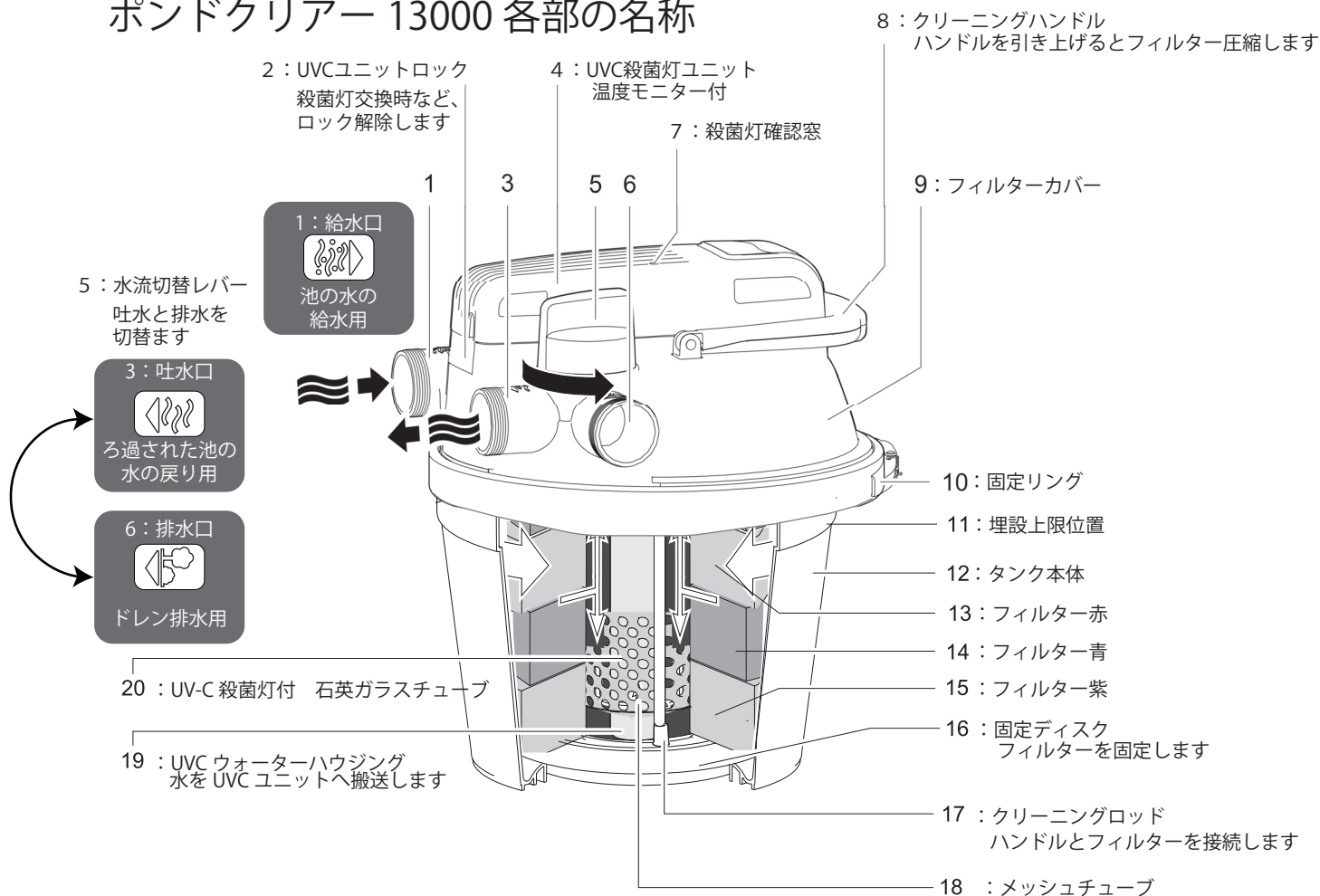
一部の部品や水中ポンプがセットになった、Eco-X13000ポンプセットを別売で用意しています。

## 商品仕様

項目1	項目2	数値
電源	定格電圧	AC100V :50Hz/60Hz
	電力消費量	24W
	ケーブル長さ	5m
専用フィルター	フィルター数	赤:1、青:1、紫:1
接続口径:給水、排水、吐水口	(対応ホース内径)	40mm(φ38ホース接続)、50mm
許容周囲温度		8~35℃
循環能力		4,500L/h (75L/min)
タンク容量		27L
池の最大容積	魚なし	~13t
	魚:小型あり	~7t
	魚:鯉あり	-
本体サイズ		H490×φ382
本体 乾燥重量		8.8kg

# 2:各部の名称

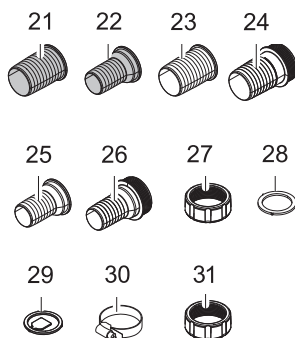
## ポンドクリアー 13000 各部の名称



太：内径50φ用

細：内径38~40φ用  
(ブラックホース、リベッドホース)

ホースは別途ご用意下さい、  
内径50φ用ホースは扱いません。



- 21 x 2個：タケノコニップル太：透明
- 22 x 2個：タケノコニップル細：透明
- 23 x 1個：タケノコニップル太：黒
- 24 x 1個：タケノコニップル太ネジ付：黒
- 25 x 1個：タケノコニップル細：黒
- 26 x 1個：タケノコニップル細ネジ付：黒
- 27 x 3個：ユニオンナット
- 28 x 1個：パッキン
- 29 x 2個：パッキン 舌付
- 30 x 4個：ホースクリップ
- 31 x 1個：エンドキャップ

### ・消耗部品

- ・UVC殺菌灯
- ・石英ガラスチューブ
- ・各フィルター

消耗の具合に応じて、交換して下さい。  
フィルターは著しい損傷が無い場合は、  
水洗いして使用するのがお勧めです。

# 3:取り付け

## ・水からの距離

フィルタシステムおよび変圧器は、水から2 m 以上離れた場所に、設置する必要があります。

ユニットを直射日光にさらさないでください。

ウォーターリターンポイント：水が間接的に（水路経由など）池に戻るするのがお勧めです。この方法により、水に酸素が取り込まれます。

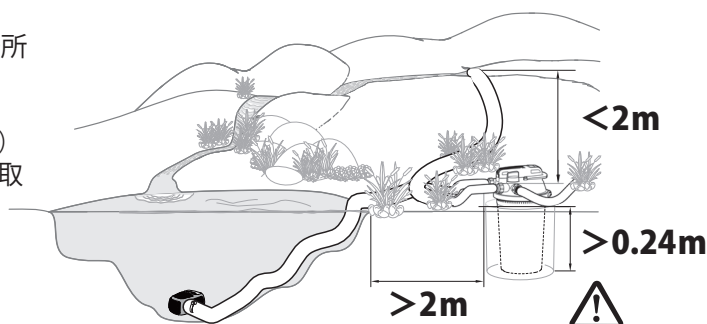
水面とウォーターリターンポイント間の高低差：最大 2 m

設置例 1：池の近くへの埋設。

池の近くに穴を掘り、容器を穴の中に0.24mまで埋設します。

設置例2：池の近くへの設置。

池の近くの洪水から保護される場所に設置します（低木の陰など）。地面が堅く、水平である必要があります。



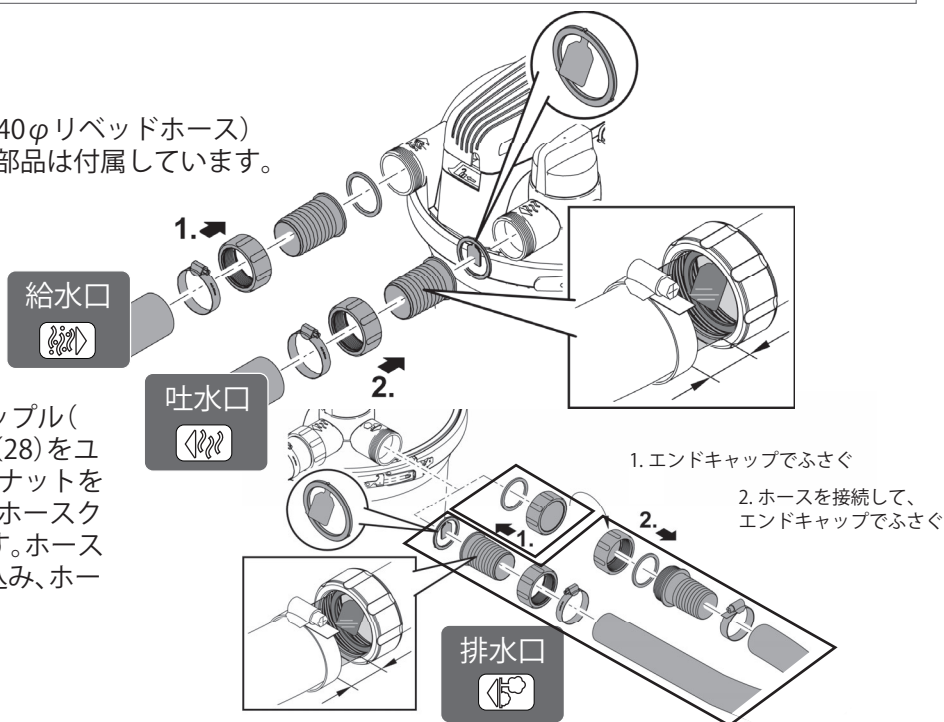
水が入ると30kg以上になります。設置前に地固めをしっかりと行って下さい。

## ・設置

別売の内径38φブラックホース（または40φリベットホース）を接続できます。ホース以外の接続用各部品は付属しています。



ユニオンナット (27) を黒色のタケノコニップル (25: 細 黒ネジなし) に押し込み、パッキン (28) をユニオンナット (27) に挿入します。ユニオンナットをタケノコニップル、給水口 (2) に締め付け、ホースクリップ (30) をホース (別売) に押し込みます。ホースをタケノコニップルに (止まるまで) 押し込み、ホースクリップを使用して固定します。



1. エンドキャップでふさぐ

2. ホースを接続して、エンドキャップでふさぐ



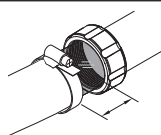
ユニオンナット (27) を透明のタケノコニップル (22: 細: 透明) に押し込み、パッキン舌付 (29) をユニオンナットに取り付けます。ユニオンナットをタケノコニップル、吐水口 (3) に締め付け、ホースクリップ (30) をホース (別売) に押し込みます。ホースをホースコネクタに押し込み、ホースクリップで固定します。



水流切替レバーが排水口の位置になっていない時でも、キャップがないと多少の水漏れをする場合があるので、必ずキャップを閉めて下さい。  
(排水管接続する場合は、バルブ設置をして下さい。)

排水口 (6) は、パッキン (28) を付けたエンドキャップ (31) を取り付けるか、予め排水用のホースを接続して、末端をキャップでふさぐ方法が選べます。

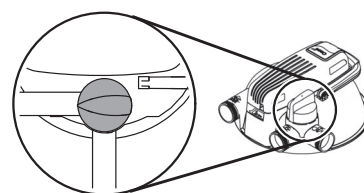
ホースを接続する場合には、ユニオンナット (27) を透明のタケノコニップル (22: 細: 透明) に押し込み、パッキン舌付 (29) をユニオンナットに取り付けます。ユニオンナットを使用して、タケノコニップルをソケットに締め付けます。ホースクリップ (30) をホース (別売) に押し込みます。ホースをホースコネクタに押し込み、ホースクリップで固定します。ホースの反対側の末端は、タケノコニップル細ネジ付 (26) とホースクリップ (30) を取り付け、パッキン (28) とエンドキャップ (31) で、ふさぎます。



吐水口、排水口の透明タケノコニップルを取り付けた部分は水流や汚れの確認が出来る様にスキマを開けて下さい。

## ・電源接続

- ・水中ポンプ、漏電ブレーカーは別途ご用意が必要です。
- ・水流切替レバーを『水のろ過』になっていることを確認して下さい。(右図参照)
- ・各ホース、排水口キャップ、ホースクリップの固定を確認します。
- ・水中ポンプの電源先に入れます。
- ・吸い上げた池の水が吐水口から流れ出るのを確認してから、UVC 殺菌灯の電源を入れます。
- ・UVC 殺菌灯と電源を接続します。外側の青色LEDランプが連動して点灯します。
- ・事故防止のため、漏電防止ブレーカーを取り付けて下さい。



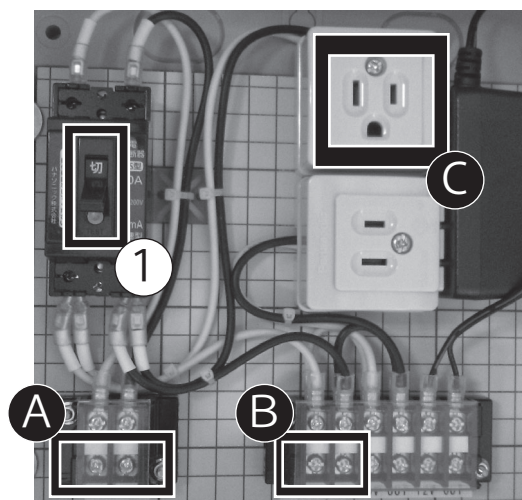
## 別売品での接続

C50PT130:Eco-Xポンプ接続セット

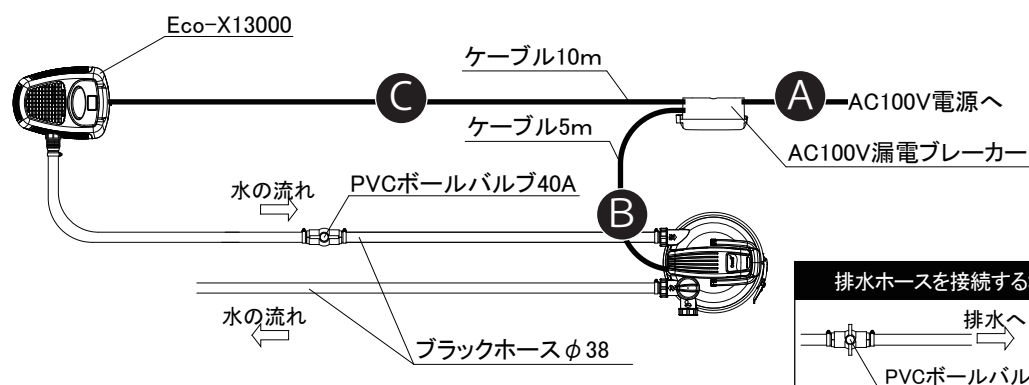
### ・AC100V 漏電ブレーカーボックス

- ・ボックスまでのケーブルは別途ご用意下さい
- ・ボックス固定用のアンカービスを別途用意して、内部に浸水しない場所に固定して下さい
- ・すべての接続が完了したら、①ブレーカーを「入」にして下さい。

- A AC100V 入力
- B AC100V 出力：内蔵 UVC 殺菌灯へ
- C AC100V 出力：水中ポンプへ



### 平面図



## ・作動

水温が 10 °C を下回ると、生物ろ過が機能しなくなります。水温が 8 °C 未満、または水面凍結が予想される際には、作動を停止します。

正常に稼働している場合：UVC ユニットの LED が点灯。UV-C 殺菌灯はおよそ 8,000 時間ごとに交換する必要があります。

# 4:メンテナンス

## ・フォームフィルタの清掃

イージークリーン機能(クリーニングハンドルで、水で洗い流します)により、フォームフィルタ、UVCユニット、UVCウォーターハウジングの清掃が容易です。

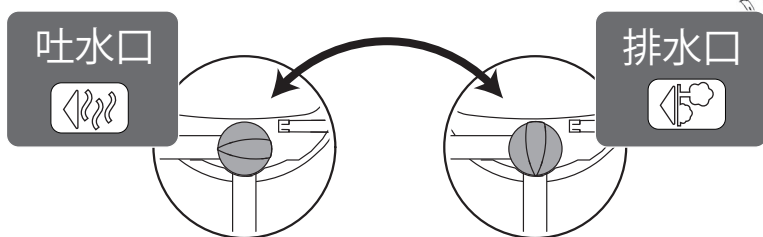
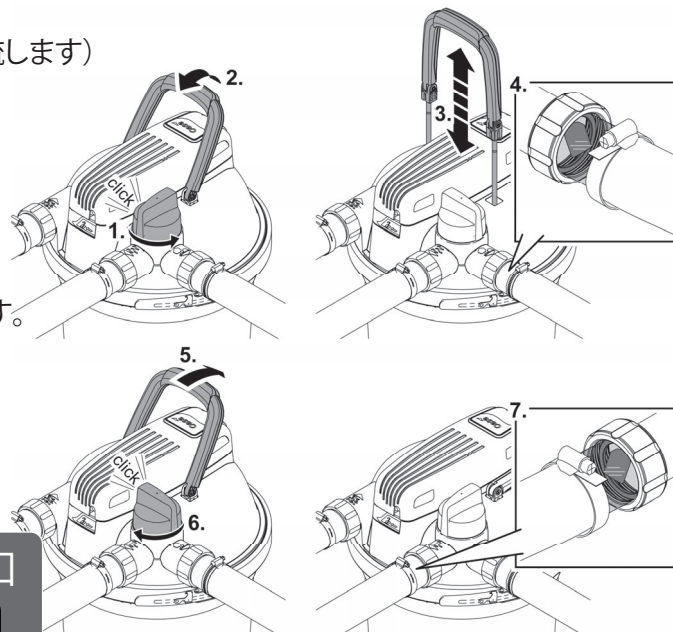
・排水口(6)は、ホース接続の状態にしてください。

(P.5参照)

・水流切替レバー(5)を90°反時計回りに回し、「排水口」にして、クリーニングハンドル(8)を勢いよく引き上げてから、押し下げる動作を数回繰り返します。

この動作で内部のフォームフィルタが清掃されます。

・透明タケノコニップル(21)に透明度の高い水だけが残るようになったら、水流切替レバー(5)を90°時計回りに回して、吐水口に切替えます。



## ・UVCユニットヘッドの脱着

作業開始前に、UVC殺菌灯と水中ポンプの電源を切ります。

-UVCユニットヘッドの取り外し

・UVCユニットヘッドのネジを外します。

・青色のレバーをスライドします。

・UVCユニットヘッドを本体から慎重に引き出します。

・運転直後は、殺菌灯が熱を帯びている可能性があるため、冷ましてから作業するのがお勧めです。

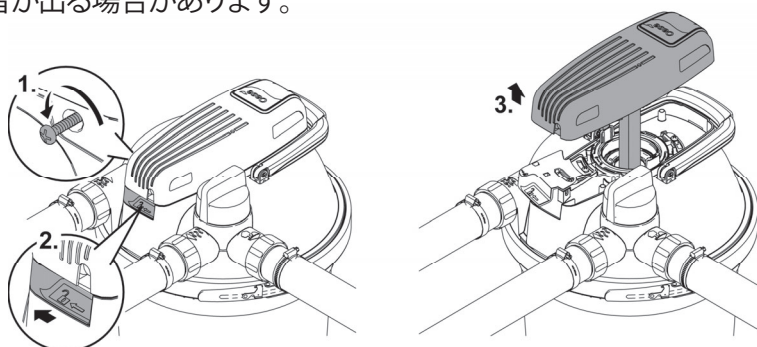
・内部は密閉状態なので、外す際に音が出る場合があります。



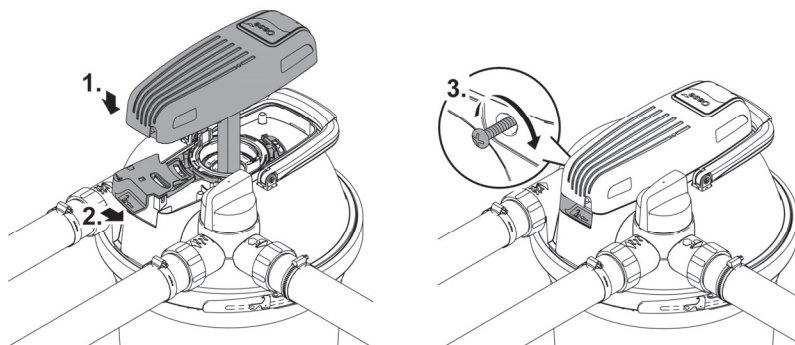
交換の目安は約一年です。  
ランプが切れたら交換して下さい。



### 取り外す 手順



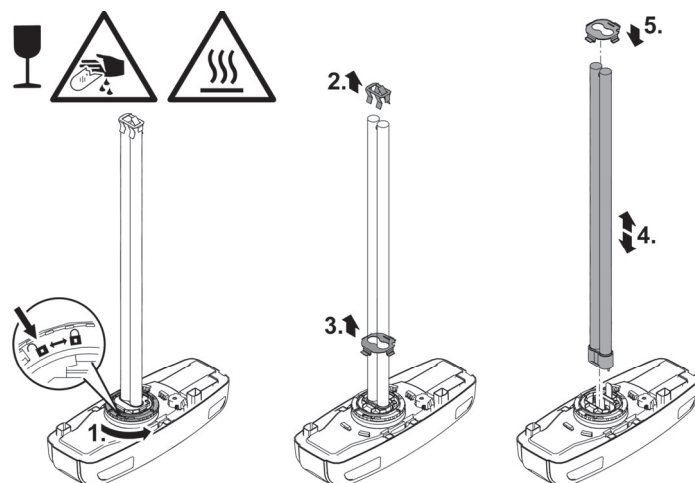
### 取り付け 手順



## ・ UVC殺菌灯の交換

必ず専用の物をご使用下さい。  
UVC殺菌灯の光を直接見ると目を傷める恐れがあります。

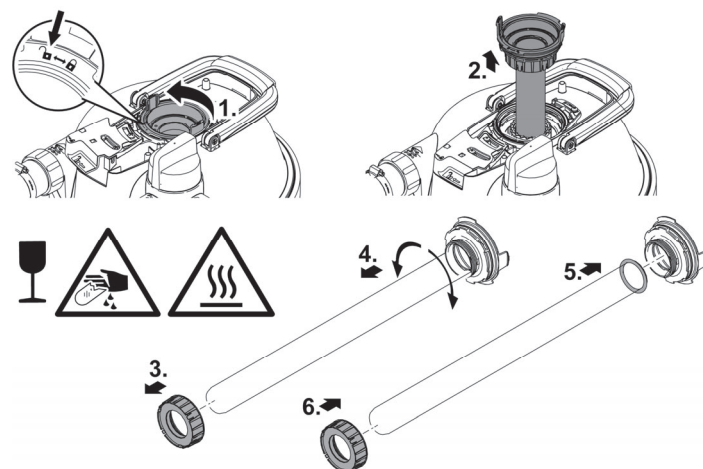
- ロックを解除します。
- UVCランプから固定部品を2個取り外します。
- 新品のUVCランプを差し込みます。
- 固定部品を再度取り付けます。



## ・ 石英ガラスチューブの清掃

UVCユニットを外して、フィルターカバー本体のロック解除します。ゆっくりズラしながら、石英ガラスチューブを引き抜きます。

- 石英ガラスチューブ (19) およびOリング (32) に損傷がないかを点検し、必要に応じて交換します。
- 湿らせた布で石英ガラスチューブの外側を清掃します。



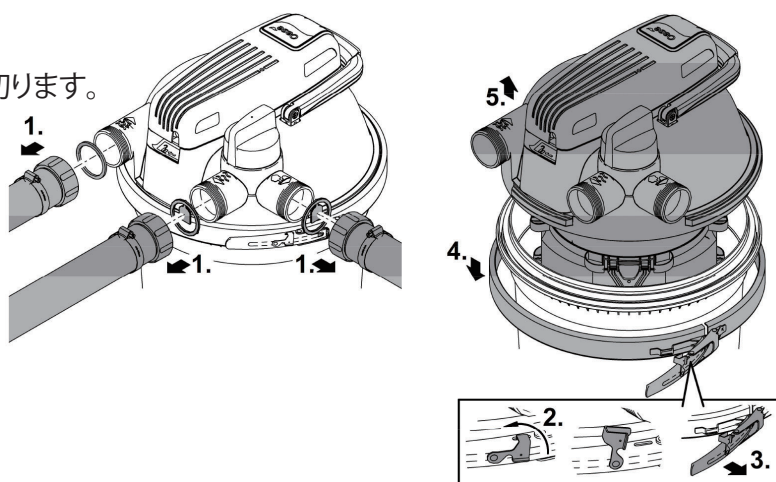
## ・ フィルターの交換

作業開始前に、UVC殺菌灯と水中ポンプの電源を切ります。

- すべてのホース、ホース接続部を取り外します。

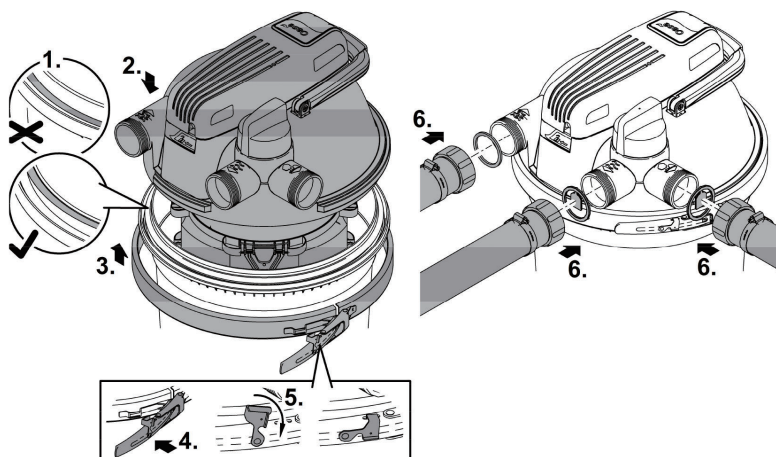
タンク本体を開く

- セーフティラッチを押し上げます。
- 固定リングを外側に動かして外します。



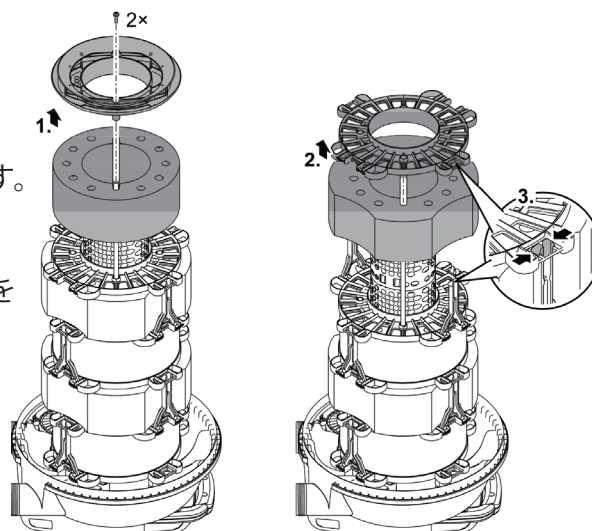
タンク本体を閉じる

- 容器の縁周りの溝を清掃します。
- リッドシールリングに潤滑油を塗布し、容器の上端と同じ高さになるように取り付けます。
- フィルター本体を容器に押し込みます。  
必要な場合は体重を掛けて押し込みます。
- 固定リングを取り付けます。
- セーフティラッチをします。



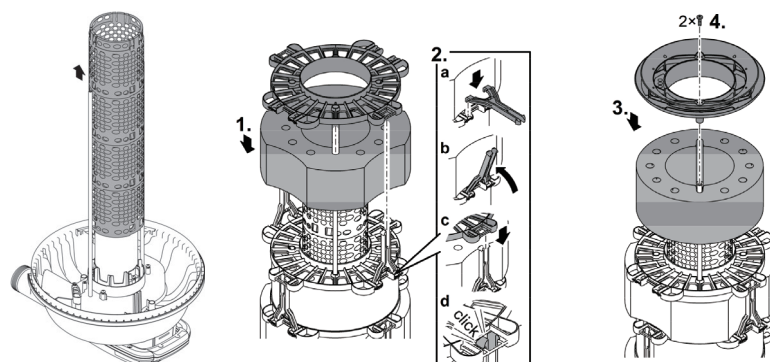
## ・ フィルターの分解

- ・フィルターを点検し、洗浄または交換します。
- ・フィルター本体を逆さまにします。
- ・2本のねじを緩めて取り外した後、フィルタディスクを取り外します。
- ・フィルターを引き出して清掃します。
- ・容器、固定リング、UVC ウォーターハウジングおよびメッシュチューブを含むフィルタリッド (UVC ユニットは外します) を高圧洗浄機などで清掃します。
- ・必要に応じて、フィルターを個別に流水で洗浄します。



## ・ フィルターの組立

- ・分解の順番と反対に組み立てていきます
- ・クリーニングロッドへ赤色、青色、紫色の順にフィルターを取り付けます。
- ・フィルターの上に固定部品を取り付けます。
- ・2本のねじを使用して、クリーニングロッドに固定ディスクを固定します。
- ・すべての部品を元に戻します。



## ・ 撤去／保管／越冬

- ・容器、ホース、接続部の水抜きを出来るだけ行います。
- ・完全に清掃し、ユニットに損傷がないか点検します。
- ・UVC ユニットおよびすべてのフィルターとともにフィルタリッドを取り外して清掃します。  
乾燥した凍結の恐れが無い場所に保管します。
- ・子供の手の届かない場所に保管します。
- ・埋設した容器の設置場所を、人や動物が事故を起こす危険が生じないように保護します。

## ・ 廃棄

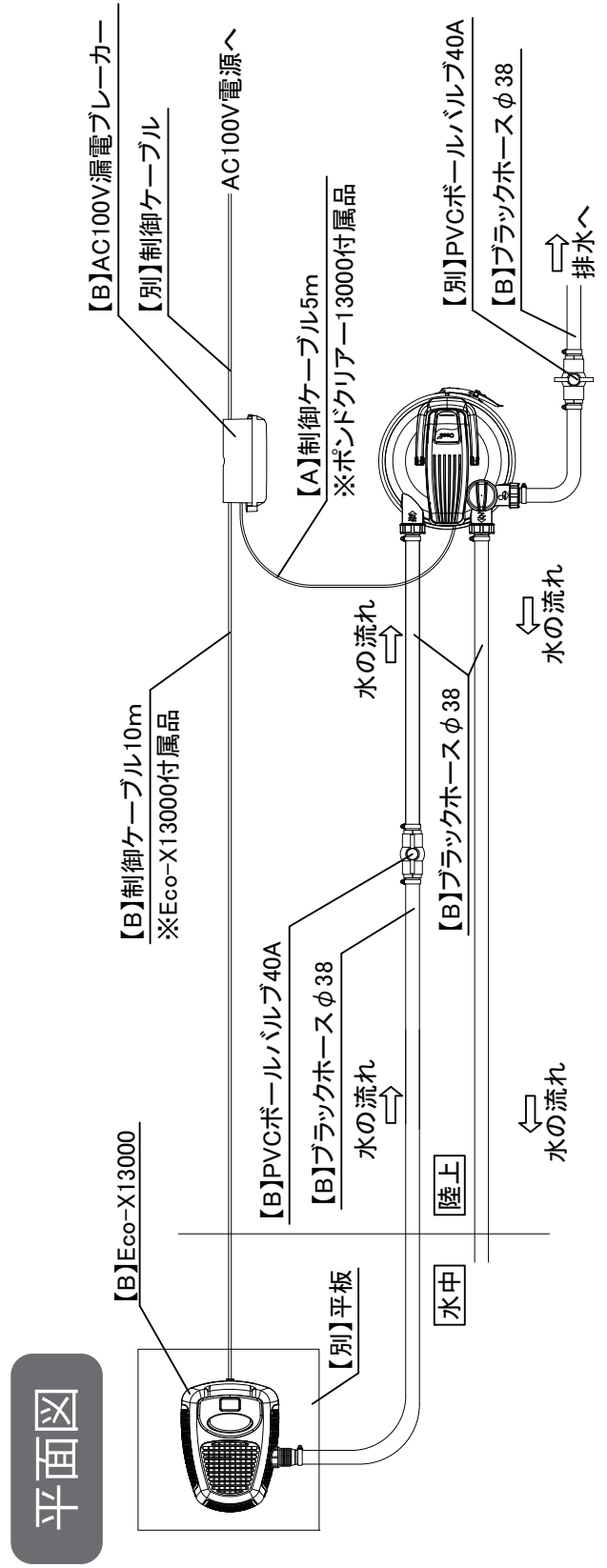
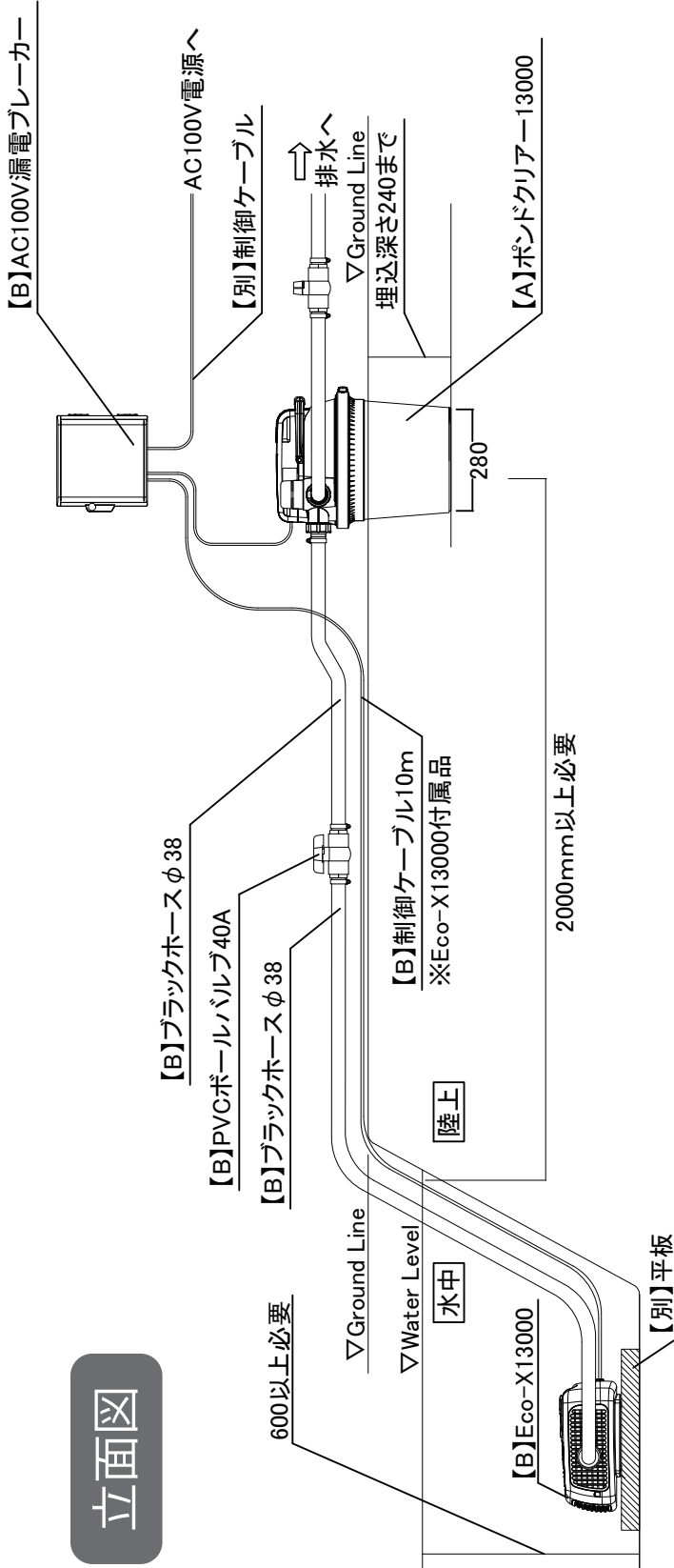
廃棄の際は自治体の条例を遵守して行って下さい。  
必ずケーブルを切断して、電気ユニットを使用不能な状態にしてください。

## ・ 不具合からの復旧

異常	原因	修復
給水口に 水が流れない	フィルタポンプがスイッチオンされていない	フィルタポンプをスイッチオンします。
	供給経路が詰まっている。	供給ラインを点検します
	機能スイッチが「水のろ過」に変わっていない	機能スイッチを「水のろ過」に変えます
UVC ランプの表示が 点灯しない	接続障害、または接続されていない	接続を点検します(電源プラグ、電源ヒューズ)
	温度モニターにより UVC ランプのスイッチがオフになった	UVC ランプを冷却します
	UVC ランプの障害	UVC ランプを交換します
ろ過性能が十分でない	石英ガラスチューブが取り付けられていない	石英ガラスチューブを取り付けます
	機能スイッチが「水のろ過」に変わっていない	機能スイッチを「水のろ過」に変えます
	ユニットの作動時間が短過ぎる	数日/数週間待ちます
	水が極度に汚れている	一度、池の水を抜き清掃して下さい
	魚や水生生物の個体数が多過ぎる	参照数値に従ってください
	フォームフィルタの詰まり	フォームフィルタを清掃します
	石英ガラスチューブが汚れている	石英ガラスチューブを清掃します
	UVC ランプの作動時間が 8,000 時間を超えている	UVC ランプを交換します

# 5:補足資料

図はC50PT130を使用した取り付け図です。



**【A】**

C50PT213  
ポンドクリア—13000(本体)

**【B】**

- C50PT130
- Eco-X13000ポンプ接続セット
- ・Eco-X13000ポンプ
- ・タケノコニップル 内径40φ用
- ・PVC製ボールバルブ40A
- ・ホースクリップ D50
- ・ブラックホースφ38\*20m
- ・AC100V漏電ブレーカー

**【別】**

- 別途ご必要な部材
- ・PVC製ボールバルブ40A(排水用)
  - ・制御ケーブル
  - ・平板